

令和3年度 第3回
首里城公園管理体制構築検討委員会

【資料3】防災センター機能の再編等

令和3年度の防災センター機能の再編等の検討

- ・令和3年度は、以下を前提に、防災センター機能の再編等の検討を行う。

■正殿単体完成時

- ・正殿等の建築物の特性や城郭等に囲われた敷地の状況等を踏まえ、城郭内（国営公園）と城郭外（県営公園）が一体的に機能する体制を構築するものとする。

※国営・県営の管理運営・防火管理に関する業務の枠組みは別途検討する。

- ・主要エリアごとに必要な防災・防火対策(ハード・ソフト)が行われるものとする。

※中城御殿エリアは、防火・防災対策の強化を含め、基本計画の改定を検討している。

<正殿単体完成時の施設等の整備状況（予定）>

- ・城郭内：正殿が完成予定である。※正殿以外の施設（北殿・南殿等）は未整備。
- ・円覚寺エリア：三門が完成予定である。※当該エリアの防災センター機能は首里杜館で対応予定。
- ・中城御殿エリア：一部の施設が完成予定である。※当該エリアに防災センター機能を設ける予定。

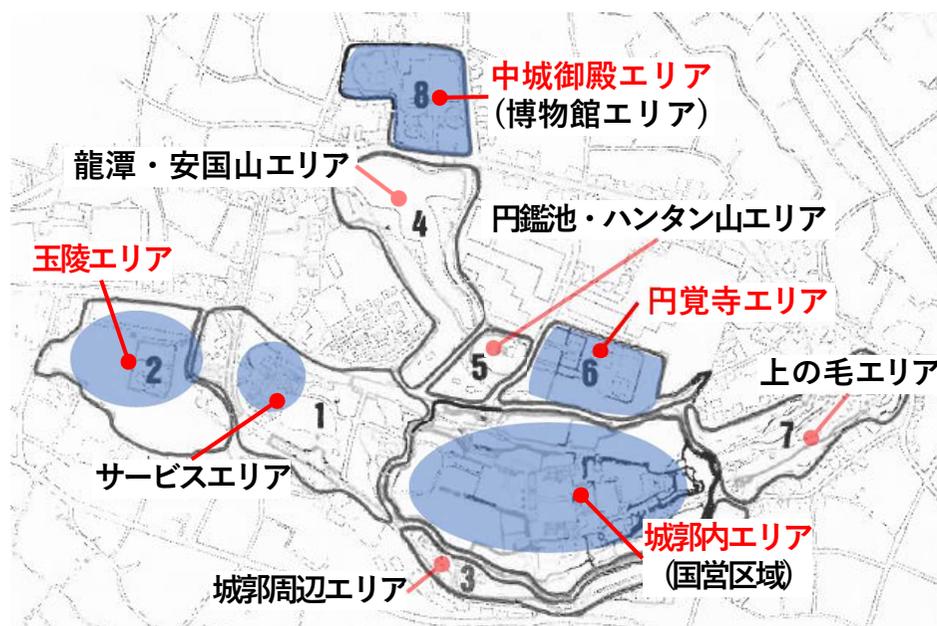


図 首里城公園のエリア区分図

- 城郭内エリア
首里城公園の外郭内の国営公園（有料・無料）区域。
- 中城御殿エリア
中城御殿の復元を予定している区域。
- 円覚寺エリア
史跡円覚寺跡の区域。
- 県文化財エリア
円覚寺エリアを含めた県文化財課管理の区域。
- 玉陵エリア
世界遺産「玉陵」を中心とした那覇市管理の区域。

※首里城公園基本設計(昭和63(1988)年3月)
沖縄県土木建築部 /p29に加筆

防災・防火設備等の運用体制及び防災センター機能の再編等の検討

- ・「首里城正殿の防火対策」（令和3年3月とりまとめ）を踏まえ、防災・防火設備等の運用体制や防災センター機能の再編等を検討するにあたり、防災シミュレーションを実施した。

■防災シミュレーションの概要

（目的）首里城公園内の防災センター機能（奉神門、首里杜館、公園管理センター、工事警備室）の役割分担や今後対応すべき事項の検討を行うため、想定される発災状況を複数設定し、運用上の課題の抽出及び対応方針を検討する。

（確認・検討事項等）

1. 発災時の対応の主な手順の確認
2. 運用上の課題の抽出
3. 必要な体制（人員等）の把握
4. 迅速な判断が求められる対応の確認 ⇒ 指揮命令系統や役割分担
5. 運用上の課題への対応方針の検討 ⇒ ハード・ソフトの調整事項

（防災シミュレーションのケース設定）

- ・ 正殿単体完成時と正殿工事期間中のそれぞれの時点で検証を行うこととし、発災状況を①時間帯（昼間・夜間）と②発災場所の2つの条件の組合せで、以下のケース設定をした。

正殿単体完成時（令和8年度）ケース設定一覧

発災場所		時間帯	
		昼間	夜間
城郭内	正殿内部（1階）	ケース1	ケース2
	正殿外部（外壁）	ケース3	ケース4
	正殿付近の建物（女官居室）	ケース5	ケース6
	奉神門（防災センター機能）	ケース7	ケース8
城郭外	首里杜館（駐車場）	ケース13	ケース14

正殿工事期間中 ケース設定一覧

発災場所		時間帯	
		昼間	夜間
工事エリア		ケース9	ケース10
開園エリア		ケース11	ケース12

正殿工事期間中は国と県で調整中

防災シミュレーションの概要

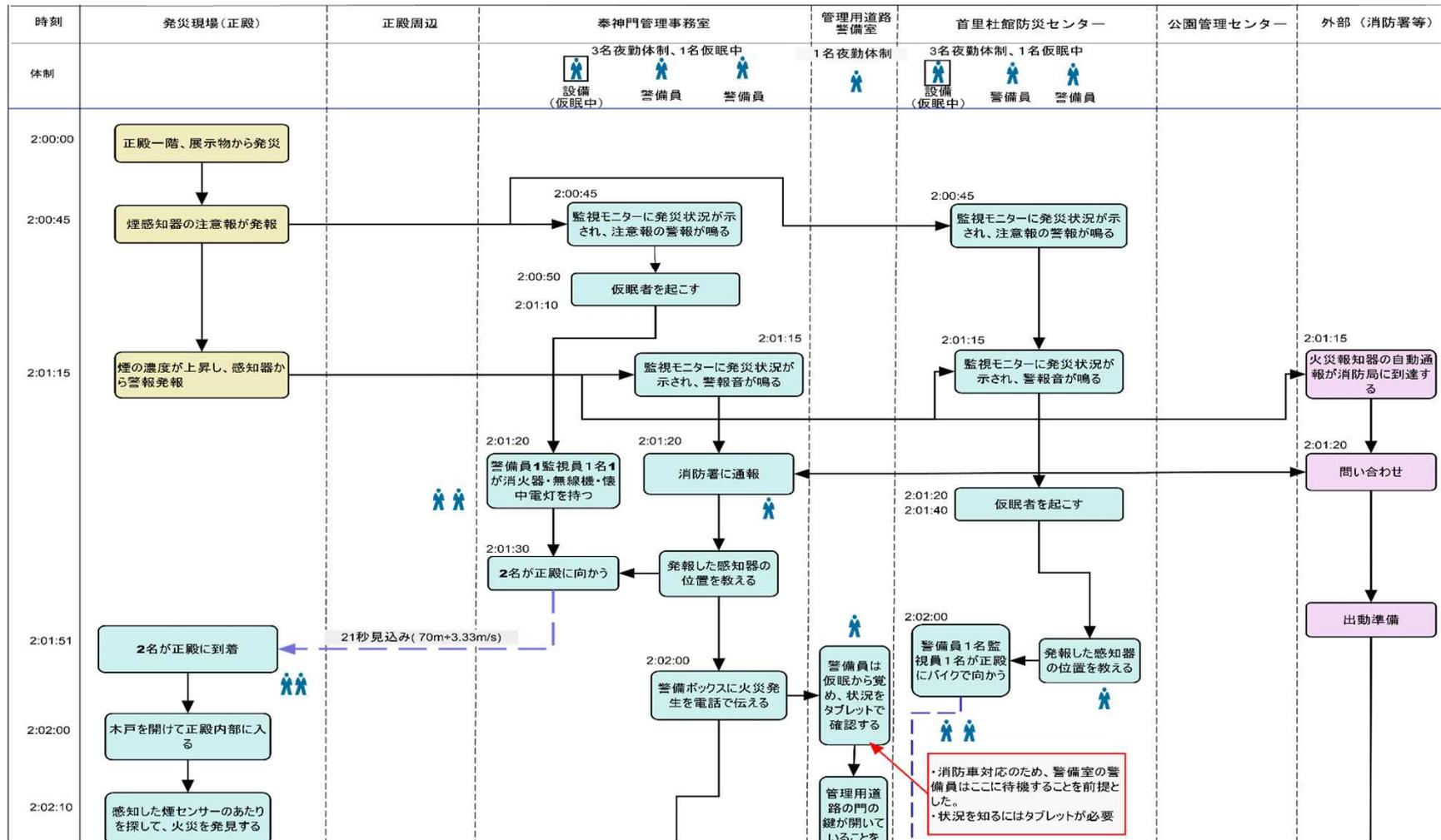
(正殿単体完成時)

■発災時の対応の手順の確認

- ・ 自衛消防隊の行動をフロー図として整理し、火災発見、初期消火、避難誘導、延焼防止などの発災時の対応の手順を確認した。

< 発災対応手順フロー図 イメージ >

ケース2: 正殿単体完成時、1階発災、夜間



防災シミュレーションの概要

■迅速な判断が求められる対応の確認（指揮命令系統や役割分担の検討）

- ・発災時に迅速な判断が求められる対応を確認し、当該対応を適切に行えるような指揮命令系統や役割分担を以下のとおり整理した。

< 正殿単体完成時の指揮命令系統・役割分担の考え方(案) >

【昼間・夜間 共通】

- ・感知器の作動から現場の確認、消防への通報（非火災/本火災）、初期消火は、一連の初動対応であり、**各エリアで対応**※1することを基本として、必要な人員を各エリアに配置する。
- ・**他のエリアは**、状況に応じて可能な範囲で、初期消火や避難誘導等の**応援**を行う。
- ・**公園管理センター**は、**公園全体**※2の公園利用者の避難誘導や**日常の防災対応**※3を行う。

初動対応の概略：感知器の作動(自動通報)→現場の確認等 → 火災発生**の確定** → 消防への通報(**本火災**) → 初期消火等
→ 非火災 → 消防への連絡(**非火災**) → 復旧対応

【夜間】

- ・**夜間は、奉神門で対応する者の役割が重要**であり、現場の警備員・監視員等への指示や消防への通報、モニター監視等において迅速かつ的確な判断が求められる。
⇒ **初動対応の指揮・判断が可能な人員を城郭内に配置し、城郭内の体制強化**を図る。

【昼間】

- ・**昼間は、初期消火と避難誘導を同時に実施**する必要があり、**対応に適した人材は異なる**。
⇒ 初期消火、避難誘導に必要な人員を踏まえ、各人へ求める役割や全体の配置を検討する。
- ・敷地特性から**公園全体での避難誘導も重要**であり、発災状況等に応じた判断が求められる。
⇒ **公園管理センターは、平常時・非常時ともに公園全体の状況把握・対応を担うものとする**。

※1 **各エリアで対応**：城郭内で発災の場合は奉神門、城郭外で発災の場合は首里杜館がそれぞれ初動対応の指揮命令の拠点とし、状況に応じて、公園管理センターへ引き継ぐ。昼間は、各エリア内に配置の警備員等が初期消火や避難誘導等を行う。

※2 **公園全体**：整備予定の中城御殿エリア、円覚寺エリア等については、今後、詳細を検討する。

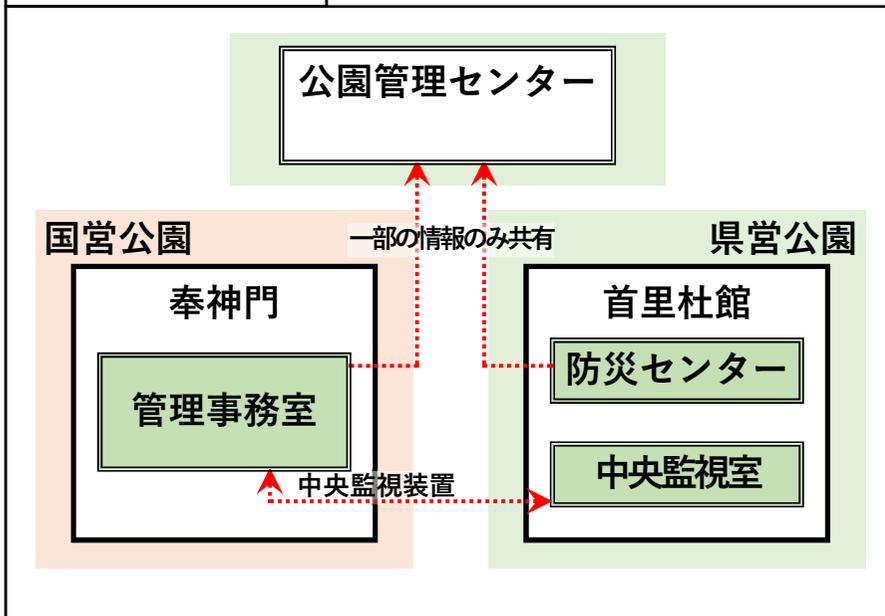
※3 **日常の防災対応**：自衛消防隊の整備・訓練、日々の防災警備・点検、関係機関との情報共有など

防災シミュレーションの概要

< 防災センター機能の向上の考え方（案） >

- ・ 城郭内は「首里城正殿の防火対策（令和3年3月とりまとめ）」において、正殿及び奉神門の防災・防火設備の機能強化が図られることとなっている。
- ・ 城郭外の首里杜館の防災センター及び中央監視室を統合した上で、機能強化を図る。
- ・ 首里城公園管理センターは、首里城公園全体の指揮統制を円滑に行うことができるよう、城郭内・城郭外の防災・防火設備等の情報の確認が可能な設備等を整備し、機能強化を図る。

令和元年10月時点



正殿単体完成時

